

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



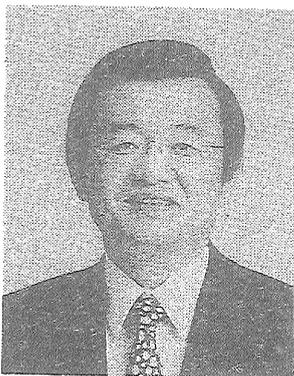
# スカウト みやぎ

NO. 6

発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟  
発行日 平成17年2月28日発行

## スカウト運動に期待されるもの

日本ボーイスカウト宮城県連盟  
連盟長 浅野史郎



日本ボーイスカウト宮城県連盟が日本連盟に登録承認されてから56年目を迎えた今年、大正14年(1925)少年団宮城県連盟として結成されて、80周年にあたります。これまでの関係の皆様のご奉仕・ご尽力に対しま

して、心から感謝と敬意を申し上げます。

昨年は、5月の世界スカウト運動創始100周年記念事業オープニングセレモニーに始まり、第6回日本ベンチャー大会へ高校生を派遣するとともに、国際交流の一環として海外のスカウトをホームステイに受け入れました。さらに、新潟県中越地震への募金活動に取り組むなど、大きな成果を上げた1年でした。

今年は、各団・各隊が目標を定めてスカウトを確保・進級させるステップアップ運動を展開する予定であり、主な事業としては、県民へのPRを目的としたスカウト展の開催や

第2回北海道・東北キャンポリーへの300人規模の派遣など、目に見える形での活動を考えております。

さて、スカウト運動の創始者ベーデン・パウエル卿は、青少年が自立心や協調性、リーダーシップを身につけ、社会に役立つ人間に育つことを期待して、この運動を始められたと言われております。現代の青少年のおかれている状況を考えてみますと、みやぎの次代を担う青少年の健全育成に取り組んでいるボーイスカウト宮城県連盟に対する県民の期待はますます高まっているものと思われま

す。今後、世界スカウト運動創始100周年記念に関連するさまざまな事業が開催されますが、これらを契機に多くの仲間との交流の輪を広げ、さらに充実した活動になることを期待しますとともに、魅力のある活動が、スカウト組織の拡大につながるものと確信しております。

最後になりましたが、皆さんの益々の御活躍・御健勝をお祈りして、新春のメッセージといたします。

### ち かい

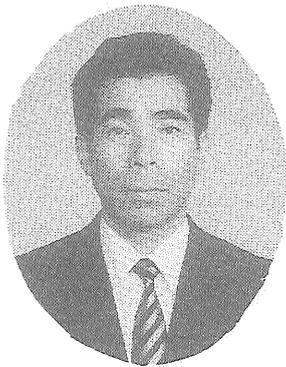
私は、名誉にかけて次の3条の実行をちかいます。

- 1 神(仏)と国とに誠を尽くしおきてを守ります。
- 1 いつも、他の人々をたすけます。
- 1 からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

## 世界スカウト運動創始100周年

### 年 頭 に あ た り

日本ボーイスカウト宮城県連盟  
理事長 千 田 好 男



スカウトの皆さん、  
団関係者そしてスカ  
ウト運動を支えてい  
ただいております大  
勢の皆様昨年は大変  
お世話になりました。  
心から感謝申し上げ  
ます。

昨年は、猛暑の続い  
た8月、関東ブロック

1都7県を活動基地に開催されました第6回  
ベンチャースカウト大会に先立ち、アジア太  
平洋地域23ヶ国から、45名のベンチャー  
スカウトを本県連盟が受入れ、ホストを引き  
受けて頂いた方々のお陰でスカウト達にとっ  
て楽しい思い出を作っていました。

また、本大会に宮城県連盟から、52名の  
ベンチャースカウトと1名のローバースカウ  
トが参加いたしました。21世紀を担う青  
少年が「自分で考え、自分で行動する」こと  
を実践するための大会を通じて、未来に向か  
って飛躍した年であったと思います。

秋には、今年2月26日から、3月5日ま  
で長野県で開催されるスペシャルオリンピッ  
クス冬季世界大会を成功させるためのイベン  
ト「500万人トーチラン」に多くのスカウ  
ト・リーダーに参加していただき感謝申し上  
げます。

さて、1907年イギリスのブラウンシー島  
でボーイスカウト運動の創始者ベーデン・パ  
ウエル卿が20人の少年による実験キャンプ  
を行ってから2007年で100年を迎えま  
す。

昨年5月に仙台市青葉区の広瀬文化センタ  
ーにおいて、宮城県連盟が全国に先駆けて「世  
界スカウト運動創始100周年オープニング  
セレモニー」を多くのスカウト関係者に参加  
をいただき盛大に開催いたしました。

すでに「世界スカウト展」開催や海外スカ  
ウトの受入れ事業などを実施しておりますが  
記念BP祭、スカウトラリー、フォーラム、  
親子アウトドア教室など16項目の記念事業  
を計画しております。

とりわけ、全国すべての団・隊が100周  
年を目指して、より多くのスカウトを確保し、  
上進させる「ステップ100運動」を実施い  
たします。平成16年度をスタートの年とし  
て、平成19年度まで、新規加盟員の増加と  
進歩制度の活用により、隊活動の活性化を図  
り、スカウト運動をステップアップさせ、そ  
の成果を顕彰することにしております。

本県連盟のスローガンであります「より良  
いスカウティングを、より多くの青少年に」  
を積極的に取り組んでまいります。

いよいよ今年7月26日から7月30日ま  
で、北海道帯広市で第2回北海道・東北ブロ  
ックキャンポリーが開催されます。

すでに参加予備申込をされていると思いま  
すが、大会に向け、技能を身につけ体力を整  
え、元気に参加しようではありませんか。

今年も、地域社会や関係諸団体との連携を  
深めながらスカウト運動発展に努めて参る所  
存であります。

今後とも、更なるご理解とご協力を賜りま  
すようお願い申し上げます。年頭の挨拶といたしま  
す。

# 世界スカウト運動創始100周年記念冠行事

## 第24回仙台第1団ボーイ隊

### オーバーナイトハイク

仙台第1団の伝統行事である第24回仙台第1団ボーイ隊オーバーナイトハイクが11月13日午後9時から11月14日早朝にかけて行われました。今年はスカウト25名、同行のベンチャースカウト7名、ローバースカウト7名、友団のガールスカウト16名、リーダー父母総勢75名で実施しました。

勾当台公園に集合、出発のセレモニーで団委員長及び育成会長から激励を頂いて、午後9時から5分間隔でボーイ隊4コ班、ガールスカウト2コ班、保護者1コ班の7パトロールに分かれてゴールの松島を目指して元気よく出発しました。

国道45号をひたすらハイキング。午前0時中野栄駅広場で夜食、午前2時30分塩釜中の島公園でお茶休憩、その後真っ暗な夜道の双観山を通り、再び国道45号に出て大型トラックの往来に細心の注意を払い、体力と



班旗とともにゴール イン

睡魔との戦いの末、28kmを全員無事に松島まで完歩しました。お手伝いのお母さんたちが作ってくれた熱々の芋煮を食べて身体を暖めた後、終りのセレモニーで全スカウトに完歩章を授与し、午前6時50分仙石線の電車に乗車、終点のあおば通り駅で無事解散しました。

### 第9回石巻地区キャンポリー

#### 『BIG 04 Summer Camp』

「スカウト みやぎ」第4号にて紹介された本キャンポリーは、石巻地区各団のボーイスカウトグリーンバー<sup>注1</sup>10名が実行委員会の主要メンバーとして活躍、企画・考案・検討・決定・反省まで一環して自主的に運営に努め、通称ビッグ ゼロ フォーCAMPを『世界スカウト創設100周年記念』の冠行事として大きな成果を挙げることができました。

ビッグ ゼロ フォーCAMPは8月7日(土)～8月10日(火)までの3泊4日の日程で志津川町神割崎キャンプ場で、今後開

催が予測される北海道・東北キャンポリーや第14回二本ジャンポリーに石巻隊として参加することを目標に、地区内全団のスカウト及び指導者同志のコミュニケーションを計る場として実施されたものでした。

主なプログラムは、第1日目キャンプサイト設営、第2日目はカブ・ビーバーホリデー並びにサバイバルハイク、第3日目サバイバルハイク・クッキングコンテスト・大営火、そして最終日はキャンプサイト撤収、と野営地に感謝のみを残して無事終了しました。

注1) グリーンバー … 班長・次長

### 白石1団新年大集会

1月8日(土)白石第1団の新年大集会を行いました。当日は雪の合間のちょっと暖かな日でした。「いきいきプラザ」での開会式。各隊の隊旗入場に始まり団委員長の年頭の挨拶、「ちかい」の言葉、光の路の斉唱、そして各隊の今年の目標の発表を行いました。

その後、ボーイ隊が二班に分かれビーバー隊、カブ隊の面倒を見ながら白石城の隣にある神明社に初詣に行きました。団委員の方に神社の正式参拝の仕方を教えてもらい、全員元気で楽しく活動できるようにお参りしました。最後に皆がお待ちかねの餅つきです。

#### 白石1団副団委員長 菅野真彦

ビーバースカウトからリーダーまで杵をかついで餅をつきました。ビーバースカウトは隊長に手伝ってもらいカブスカウト以上は一人ずつつきました。毎年ついているスカウトはとても上手になりました。

つきあがったお餅はお母さん達が準備してくれたお雑煮とあんこ餅にして食べました。男子も女子もおかわりしてちょっと多いかなと思われたお雑煮でしたがすっかりなくなりました。

とても楽しい一日で今年一年またみんな仲良く楽しく元気に活動していけそうです。

# 新潟県中越地震義援金募金

平成16年10月23午後5時56分発生した新潟県中越地震に対し、日本ボーイスカウト宮城県連盟の各団は早速自発的に義援金募金活動に励みました。

♡ 石巻第1団は10月30日ボーイスカウトの“ちかい”の実践の場として団委員長の独断で全隊へ出動を指示し義援金募金活動を実施した。緊急動員にも拘らず45名のスカウト・リーダー・保護者が参加した。ヨークベニマルの2店舗から協力を頂き、来店のお客様からも激励の言葉と共に募金にご協力して戴くなど、これぞボーイスカウトという活動であった。

.....

♡ 塩釜第1団は11月7日スカウト34名・指導者14名が団本部に集合、育成会長からの新潟県中越地震の被災状況のお話の後、本塩釜駅前・ジャスコ塩釜店・マリンゲート塩釜店などで6ヶ班を編成して募金活動を行った。

毎日メディアの放送等もあって募金者の意識が充分に高く、スカウト自身も今までの募金活動とは何か違いを感じた様子であった。

♡ 岩沼第1団は七五三参りで賑わう竹駒神社の境内で11月14日ビーバー・カブ隊を中心にスカウト・リーダー・保護者35名が参加して募金活動をした。

.....

♡ 泉第1団ではスカウト50名、指導者22名、総員75名の全隊を挙げて、11月20日と22日の2日間に亘って泉中央駅前・イトーヨーカドー前・ジャスコ富谷店入り口で募金をしました。被害総額から考えるとまだまだ募金活動の必要性を感じました。

.....

♡ 11月21日、仙台第1団のボーイ・ビーバースカウト・指導者等31名は仙台の目抜き通りに繰り出し、佐々重ビル前・水晶堂前・阿部蒲鉾店前・みずほ銀行の4ヶ所で街頭募金を実施、更に当団育成会からの義援金と併せて翌22日に河北新報社へ持参して11月23日の朝刊に掲載された。

今回県連盟事務局へ報告があった分を次の通り紹介致します。この他、募金活動を行っても県連盟へ報告のなかった団もある模様ですが、寒い中大変ご苦労様でした。

## (1) 県連盟送金分

岩沼第1団	32,247円
白石第1団	5,000円
塩釜第3団	9,438円
石巻第1団	12,624円
石巻第2団	138,783円
計	198,092円

## (2) 他機関へ納入分

泉第2団	238,143円	(社会福祉法人新潟県共同募金会)
塩釜第1団	115,657円	(ボーイスカウト新潟県連盟)
仙台第1団	132,449円	(河北新報社)
仙台第1団育成会	30,000円	(河北新報社)

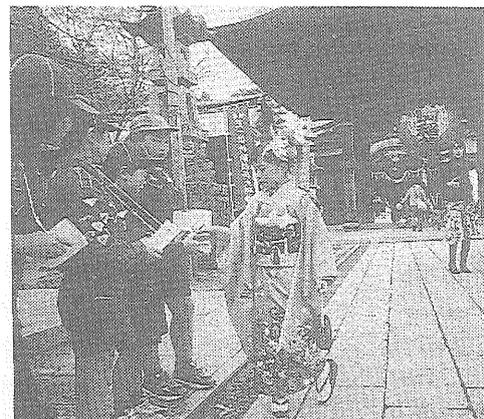
尚、上記県連盟会計宛送金分 198,092円 は12月27日千田理事長他副理事長が浅野連盟長に対し義援金募金活動並びに他の活動状況を報告いたしました。また宮城県連盟宛に送金された義援金は日赤へ持参いたしました。



塩釜第1団



仙台第1団



岩沼第1団

2004 SENDAI 光のページェント  
 仙台地区300人のサンタパレード  
 パフォーマンス賞に輝く

12月23日夜、仙台市内定禅寺通りで仙台市光のページェント実行委員会主催による恒例のサンタパレードが行われ、ボーイスカウト仙台協議会のビーバー・カブ・ボーイスカウト、指導者、保護者及び家族の総勢300名が参加しました。

多くの観客の中、17時30分カウントダウンで点灯を祝い、岩沼第1団の鼓隊の先導で、第一集団はビーバー隊、第二集団にカブ隊で行進が始まりました。

第二回目の行進はパフォーマンス（仮装）でのパレード、ビーバー隊はトナカイに扮し、仙台地区柿沼広報委員長の力作によるリヤカ



一際目だったボーイスカウトのパレード



サンタがいっぱいドラムを叩いてやって来た

一改造のソリに高さ2.4メートルの照明付のサンタバルーンを乗せて、これまたトナカイに扮したボーイ隊のスカウトたちが曳いて歩きました。

サンタバルーンは一際高く明るいので、とても良く目立ち大きなサンタと一緒に記念写真を撮る親子の姿が見られました。

その結果、約1000人の市民が参加したサンタパレードでボーイスカウトは主催者の『光のページェント』実行委員会からパフォーマンス賞を受賞するという荣誉に輝きました。

下駄も鳴子のカラコロまっぷ

11月7日、古川1団では鳴子町中央公民館で開催された、鳴子隊、迫隊、高清水隊との県北地区合同スカウト活動にスカウト・指導者・父兄など総勢48名が電車で参加しました。

午前中は、ロープワークとツイストダンパー作りでした。ロープワークでは本結び、8の字結び、テグス結びなどに挑戦しました。小さなビーバースカウトにとってはテグス結びが難しかったようでしたが、隊長やボーイ隊のお兄さん、お姉さんたちに教えてもらいながら四苦八苦しつつも頑張りました。

ツイストパンは、パン生地を竹に巻き付けてドラム缶で作ったコンロで焼きました。

昼食後の午後は、鳴子町内のウオークラリーに挑戦しました。「下駄も鳴子のカラコロ

古川1団育成会長 谷本富男

まっぷ」の地図を見ながら散策しました。ルートはこけしを作っている場所の見学から始めて足湯の場所を訪ね、噴湯源泉を通り温泉神社、街の共同湯を見てから最後に足湯に浸りホット一息をいれ、最後に全体でセレモニーをして一日の活動を無事終わりました。



頭寒足温 健康は足湯から

## 第2回北海道・東北キャンポリー 宮城県連盟派遣団シンボルマーク募集

2HTC特別委員長 横澤 繁

今夏、「世界スカウト運動創始100周年記念事業」として帯広市で開催される第2回北海道・東北ブロックキャンポリー（略称：2HTC）は全部門のスカウトが一同に集まる田園都市型の大会で、スカウト本来の活動はもとより、自然環境にも、人にも優しい大会の実践が考えられております。

宮城県連盟では2HTC特別委員会を設置して着々と参加準備を進めておりますが、この度、下記要領により宮城県連盟派遣団のシンボルマークを募集しております。多数のご応募をお待ちしております。

記

1. 使用箇所 (1) 派遣団のネッカチーフ  
(2) 野営帽

2. 使用色 自由
3. 応募用紙 白色用紙、はがき可
4. 締切日 平成17年3月31日必着
5. 応募資格 ボーイスカウト関係者全員  
(指導者・父母を含む)
6. 送付先 〒981-0915  
仙台市青葉区通町 1-6-9  
ボーイスカウト宮城県連盟  
2HTC特別委員会
7. 賞品 採用者には記念品を贈呈
8. 問合せ先 Ⅱ/fax 019-672-3723  
PHS 070-5092-3723

E-mail: syokosawa@hotmail.com

〒028-3305 岩手県紫波郡日詰郡山駅 261-1

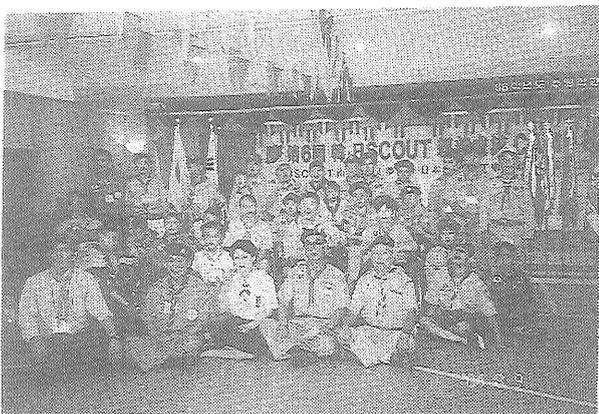
横澤 繁

### 日韓スカウト国際親善交流派遣団に参加して

仙台12団2隊カブ隊長 網田文恒

このたび、平成16年8月9日から4泊5日の日程で日韓スカウト国際親善交流派遣団に参加する機会を得て、仙台12団から障害児スカウト4名、健常児スカウト1名、団委員長以下指導者4名の総勢9名で行って来ました。

プログラム開始の前日にソウル市内に入り、地元韓国の本場料理を全員で楽しみ栄養をとりました。



韓国 走夢学校でウェルカムパーティー

第二日目は東京板橋12団一行と合流して現地の養護学校「走夢学校」に行き盛大な歓迎を受けて派遣スカウト達も「これから何が始まるのかな？」とワクワクした様子でした。

スカウトが興味を引くように考えられた朝の集いから一日がスタートして、スケールの大きな各プログラムに全員が熱中し、4泊5日の期間も短く感じられました。

スカウト全員が、韓国の異文化に触れて生活した経験は何ものにも替え難いことであり一回りも大きく成長したように思いました。

また、スカウト同志がお互いに思いやりながら助け合う姿が見られたことも私自身のスカウトに対する新しい発見となりました。

今後は、この日韓国際親善交流が末永く継続されてスカウト達の成長の糧となることを期待し、再びお手伝いできる機会が巡って来ることを念じております。

ボーイスカウト2004なつ  
～かんこくのたび～

仙台12団第2ボーイ隊 つなだのりゆき

ぼくは、なつやすみにボーイスカウトのおともだちとかんこくにいってきました。おとうさんもいきました。はじめてのひこうきでドキドキしたけれども、とってもワクワクしました。

かんこくのおともだちともなかよくなりました。いっしょにゲームをしたり、アスレチックをしたり、とってもまいにちあつかったけれどもたのしかったです。

ごはんはキムチがいっぱいあってからかったけれどおいしかったです。それから、おおきなうみのようなプールもきもちよかったです。

かんこくのことばもおぼえました。「アンニョンハシムニカ」（こんにちは）、「チョヌン“ツナダ ノリユキ” イムニダ」（ぼくのなまえは“つなだ のりゆき”です。）

また、みんなでかんこくにいきたいです。

（聞き書き）

日韓スカウト交流派遣団で  
韓国へ行ったこと

仙台12団第2カブ隊 わたなべ れん

ぼくは、平成16年の夏、韓国のスカウトと国際親善交流派遣団として団委員長やリーダーと一緒にスカウト4名の9名で韓国へいってきました。

どんな人に会えるか楽しみにしていましたが、とくに韓国の女の子に仲良くしてもらいました。とても優しい女の子でした。

皆と仲良くなれた焼き内パーティーが一番の思い出です。

帰りに別れるときは悲しかったけれども、みんなと交流できて良かったです。

日本にも遊びに来てほしいと思っています。

（聞き書き）



「いつも、他の人々をたすけます」

歳末助け合い募金活動

古川1団育成会長 谷本 富男

古川1団は12月12日10時から12時まで、みやぎ生協古川南店でビーバースカウトからベンチャースカウトまで30人が参加して歳末助け合いの募金活動をしました。

日中ながら気温が低い中、屋外で大きな声を出し合い、買い物に訪れた人たちに募金の呼び掛けをしました。

この募金活動は毎年実施され、全額を社会福祉協議会に寄付しています。

募金活動の後は近くの南部コミュニティセンターでお母さんたちが作ってくれたトン汁に舌鼓を打ち冷えた体を温めました。

食後は親子でペンシルバルーンを使って動物の製作に挑戦して大いに盛り上がり終了しました。



募金にご協力くださ〜い

塩釜第4団は、塩釜市の中心街の少し南に位置する雲上寺(浄土宗)が団本部で日常の活動にも仏教の教えを取り入れながら、スカウト精神を培っています。

そんな活動の中でベンチャースカウトは、毎年、大晦日の「除夜の鐘つき」に参加し、お寺の仏教青年会・一般参拝者の方々との交流を図り、スカウト同志で一年の成果と反省を語り、仮眠後に新年の幸を「初日の出」に願うため、隣町の七ヶ浜町菫蒲田海岸に早

朝ハイキングをおこなっています。日常の諸集会・行事などにはなかなか顔を出せないスカウトも、この時ばかりは顔を見せて、近況や新年への夢を語り合うよい機会となっています。

現代の自然も、人間社会も不安な状況ですが、もうすぐ社会人となる年齢のベンチャースカウトには心と身体を強くし、たくましい青少年スカウトとして今年も元気に歩いてほしいと願っています。

### 「スカウト みやぎ」発行に関するアンケートについて

平成16年10月、第5号発行時に県連盟広報委員会における平成16年度の事業の一環として「より見易く」、  
「組織拡張の役に立つ広報紙」の編集を目標として、皆様方からのアンケートをお願いいたしましたが、今回次の通り取り纏めましたのでお知らせいたします。

なお、その他のデータについては紙面の都合上、後日お知らせするよう検討致します。

1. アンケート用紙発行数 100名(各団委員・リーダー・保護者宛 3名)
  2. 用紙配布状態 「スカウト みやぎ」第5号発送時同梱
  3. 回答数 20名(無記名)
  4. 皆様方からのアドバイス(順序不同)
    - (1) 是非廃刊のないよう継続発刊に努めていただきたい。
    - (2) 読者をスカウト関係者に置いていると思うが、組拡ツールと考えているなら、今後編集方針の精査が必要と感じる。ターゲットがぼやけると、訴求力が低下すると思われる。
    - (3) 写真を鮮明にし、「スカウト みやぎ」+ 県連情報紙を併合した紙面に出来ないか。
    - (4) 内容の殆んどが体験記、感想文となっている。各団の活動、トピックス、組拡事例等を多くしてほしい。参考にしたい。また冒頭に宮城県連盟からの一言、目次があっても良いと思う。
    - (5) 記事に欲張らないほうが読みやすいと思います。
    - (6) 「継続は力なり」ご苦労様ですが宜しくお願い致します。
    - (7) いつも「スカウト みやぎ」を楽しみにしています。原稿を集めるのが大変でしょうが、これからも皆から愛されるスカウト紙として頑張ってください。
    - (8) 組織内向きか? 組織外向きか? 編集が中途半端ではないか。原稿は90%が内向けで対外的には使用できない。両用はムズカシイと考えられるので、年1回位で良いので100% 対外向けのものを研究されたら如何か。
    - (9) いつも簡単にしか目を通していませんが、これは父兄に向けて発行されているのでしょうか? 出来たら入隊している本人たちにも興味を引くものを載せて頂けたらとも思います。
    - (10) 広報紙「スカウト みやぎ」は対外的に活用してくれと聞いているが... 専門用語を少なくする。もしくは専門用語に対する説明を増やし関係者以外でも分かり易くすることを希望する。  
対外的な広報紙は年1回で良いのでは...
- 「スカウト みやぎ」の用紙をもっと明るく出来ないか、今の緑の用紙だと写真が暗く見えるので明るいものに出来ないか。

**編集後記** 県内全ての地区から新潟県中越地震の義援金募金活動他沢山の原稿をお寄せ戴きありがとうございました。創意と工夫で何とか全部の記事を掲載することが出来ましたが、紙面の都合により皆様方にご協力を戴きましたアンケートの詳細を掲載することが出来なくなりました。誠に残念ですが、今後の広報紙の編集に活用させていただきます。

- 発行 日本ボーイスカウト  
宮城県連盟
- 編集 宮城県連盟広報委員会
- 〒981-0915  
仙台市青葉区通町1-6-9  
宮城県通町分庁舎内
- TEL/FAX  
022-234-2359